



令和5年度ひすいの里総合学校グランドデザイン

【糸魚川市子ども一貫教育方針】

- 豊かな心の育成
自己肯定感を高め、道徳性と社会性をもつ子ども
- 健やかな体の育成
規則正しい生活リズムを身に付け、自分の健康を管理する子ども
- 確かな学力の育成
学び合いにより学習意欲を高め、確かな学力を身に付ける子ども
交流及び共同学習をとおして自立して学ぶ子ども

【児童生徒一人一人のニーズ】

- 確実な引継ぎと実態把握
- 個別の指導計画（自立活動）の目標
- 【保護者・地域の願い】
- 朗らかで優しい子ども
- 最後までやりぬく子ども
- ふるさと糸魚川が好きな子ども

当校のミッション：子どもたちの自立を支援し、生きる力を育てる

教育目標

- ① **ひとみ** かがやく子 （好奇心をもって学び喜びを感じる）
- ② **すてきな** えがおの子 （楽しみながら友達と仲良く活動する）
- ③ **いつも** げんきな子 （生活リズムを身に付け元気な体をつくる）



学部・重複障害学級の目標（身に付けたい力や態度）

【小学部】

- ① できることを増やし、進んで取り組もうとする力
- ② 身近な人と関わり合う力
- ③ 規則正しい生活習慣の確立と健康な体づくり

【重複障害学級（ひだまり教室）】

- ① 活動や学習を楽しもうとする気持ち
- ② 自分の気持ちを身近な人に伝える力
- ③ 活動や学習の基盤となる生活リズムの確立

【中学部】

- ① 様々なことに興味をもち、進んで学習に取り組む力
- ② 社会や地域に関わろうとする力
- ③ 継続して体力づくりに取り組む姿勢

【重点1】一人ひとりの自立に向けた生きる力の育成

- 【方 策】
- ① 学習指導要領に基づき指導と評価の一体化を図り、目指す資質・能力を確実に育成する。
 - ② 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進し、学力の向上を図る。
 - ③ キャリア教育の視点で、学部間、学校間の繋がりを意識した学習を重視する。
 - ④ 各機関等と連携し、継続的・実践的な研修を通して教職員の専門性の向上を図る。

【重点2】主体的に社会参加する力の育成

- 【方 策】
- ① 糸魚川小学校との交流及び共同学習、居住地校交流や各種行事等での交流を実施する。
 - ② 地域資源を活用したジオパーク学習や生活体験学習、職場体験学習等を実施する。

【重点3】開かれた学校づくり

- 【方 策】
- ① 教育活動の充実を図るために、外部講師や学校支援ボランティア等を活用する。
 - ② 機会を捉えて地域へ積極的に情報発信及び地域支援を行う。
(オープンスクール、フリー参観、研修会の公開、学校便りの発行、HPの更新、特別支援教育のセンター的機能等)

【重点4】安全・安心な学校づくり

- 【方 策】
- ① 差別を許さず、自他を大切に行動できる児童生徒の育成を目指した人権教育、同和教育の充実を図る。
 - ② 思いやりをもち、自己や他者、社会にとってよりよい判断ができるような道徳教育を実践する。
 - ③ 災害や事故などに対し、安全に望ましい対応がとれるように、事故防止も含めた実践的な学習を行う。

承認・評価

学校運営協議会 ・ 保護者

令和5年度グランドデザイン「指導の重点」を受けての各学部・重複障害学級の方策

【重点1】一人ひとりの自立に向けた生きる力の育成

- 〔方策〕①学習指導要領に基づき指導と評価の一体化を図り、目指す資質・能力を確実に育成する。
 ②「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進し、学力の向上を図る。
 ③キャリア教育の視点で、学部間、学校間の繋がりや就労を意識した学習を重視する。
 ④各機関等と連携し、継続的・実践的な研修を通して教職員の専門性の向上を図る。

《小学部の方策》

- ①育成すべき資質・能力の三つの柱を踏まえた個別の指導計画を作成し、指導・評価する。
 ②「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、授業づくりや授業改善を行う。
 ③キャリア教育の視点で、自分の役割を最後まで果たすことができるような活動を継続的に設定していく。
 ④中学部、市の福祉関係機関等と連携し、継続的・実践的な研修を通して教職員の専門性を図る。

《中学部の方策》

- ①育成すべき資質・能力の三つの柱を踏まえた個別の指導計画を作成し、指導・評価する。
 ②「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、授業づくりや授業改善を行う。
 ③キャリア教育の視点から、特別支援学校高等部や地域の公共施設、働く場所などの見学や体験をする。
 ④市の福祉関係機関や特別支援学校高等部等と連携し、継続的・実践的な研修を通して教職員の専門性を図る。

《重複障害学級の方策》

- ①複数の職員で実態把握を行い、一人一人の課題に応じた個別の指導計画を作成し、指導・評価する。
 ②「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、授業づくりや授業改善を行う。
 ③自分の役割を最後まで果たすことができるような活動を設定したり、家族、教職員以外の人と関わる機会を設定したりする。
 ④医療、理学・作業療法士、市の福祉関係機関と連携し、継続的・実践的な研修を通して教職員の専門性を図る。

【重点2】主体的に社会参加する力の育成

- 〔方策〕①系魚川小学校との交流及び共同学習、居住地校交流や各種行事等での交流を実施する。
 ②地域資源を活用したジオパーク学習や生活体験学習、職場体験学習等を実施する。

《小学部の方策》

- ①系魚川小学校との交流や行事、居住地校交流を計画的に実施する。
 ②ジオパーク学習や生活体験学習等を実施し、積極的に地域に出かける。

《中学部の方策》

- ①高田特別支援学校白嶺分校や白嶺高校福祉コースの生徒との交流、居住地校交流を計画的に実施する。
 ②ジオパーク学習や生活体験学習、職場体験等を実施し、積極的に地域に出かける。

《重複障害学級の方策》

- ①系魚川小学校との交流(小)、高田特別支援学校白嶺分校や白嶺高校との交流(中)、居住地校交流を計画的に実施する。
 ②ジオパーク学習や生活体験学習、職場体験(中)等を実施し、積極的に地域に出かける。

【重点3】開かれた学校づくり

- 〔方策〕①教育活動の充実を図るために、外部講師や学校支援ボランティア等を活用する。
 ②機会を捉えて地域へ積極的に情報発信及び地域支援を行う。

《小学部の方策》

- ①体育や外国語活動、読み聞かせ、各種行事等で外部講師や学校支援ボランティアを活用する。
 ②オープンスクール、福祉展等の機会を捉えて、地域に学校・学部紹介を行う。

《中学部の方策》

- ①情報教育、外国語活動、読み聞かせ、各種行事等で、外部講師や学校支援ボランティアを活用する。
 ②機会を捉えて、地域に学校、学部紹介や作業製品販売をする。

《重複障害学級の方策》

- ①情報教育、外国語活動、読み聞かせ、各種行事等で、外部講師や学校支援ボランティアを活用する。
 ②オープンスクールや福祉展等で、地域へ学級の紹介をしたり、作業製品販売(中)をしたりする。

【重点4】安全・安心な学校づくり

- 〔方策〕①差別を許さず、自他を大切にして行動できる児童生徒の育成を目指した人権教育、同和教育の充実を図る。
 ②思いやりをもち、自己や他者、社会にとってよりよい判断ができるような道徳教育を実践する。
 ③災害や事故などに対し、安全に望ましい対応がとれるように、事故防止も含めた実践的な学習を行う。

《小学部の方策》

- ①学校生活全般で、学級・学部の仲間や職員等身近な人と適切に関わることができるよう支援する。
 ②自分の役割を果たし、仲間と協力しながら活動する場面を設定する。
 ③体験的な活動をとおして、安全な行動や望ましい対応を意識するように支援する。

《中学部の方策》

- ①学部の仲間や職員、地域や体験先の人と適切に関わることができるよう支援する。
 ②学校生活全般で、自分の役割を果たし仲間と協力できる集団的な活動場面を設定する。
 ③災害や事故が起こったとき、望ましい行動がとれるよう、体験的な活動を通じて支援する。

《重複障害学級の方策》

- ①教室の言語環境を整え、身近な仲間や職員と適切な関わり方ができるように支援する。
 ②自分の役割を果たし仲間と協力しながら活動する場面を設定し、互いを認め合う雰囲気作りをする。
 ③災害や事故を想定した体験に参加し、安全な対応について意識するように支援する。

